

安全保障戦略研究

第4巻 第2号 2024年3月

安全保障をめぐる議論の地平

西欧安全保障における「包括化」の胎動と普遍的価値
—— 1970～80年代の地中海情勢を焦点に ——

伊藤 頌文

文官・軍人一体型国防省の意思決定
—— イギリス国防省における対イラク軍事的オプションの選択 ——

助川 康

ネットワーク化戦力にとってのミッションコマンド
—— 近年の米海空軍のドクトリン・作戦コンセプトとの関係を中心に ——

菊地 茂雄

1950年代後半における中華民国の大陸反攻戦略の変容
—— グローバル冷戦と国内社会情勢の視点から ——

米 多

地域安全保障の動向

「南シナ海の領有権問題」再訪
—— 米中対立の中の東南アジア ——

庄司 智孝

中国共産党第20回全国代表大会における国防政策方針と中国人民解放軍上層部の人事動向

杉浦 康之

サウディアラビア・UAE二国間関係の二面性
—— イエメン内戦と強国化政策を巡る競合主体化 ——

吉田 智聡

アフリカにおけるクーデタの再来と対テロ戦争

神宮司 覚

新たな安全保障政策の展開

民主主義国家の「サイバー軍」による攻勢的サイバー作戦能力の整備と運用
—— 米軍とオランダ軍における「二重の統合」の過程に着目した比較事例研究 ——

瀬戸 崇志

自由で開かれたインド太平洋（FOIP）構想下の日本の対フィリピン防衛協力
—— 日比関係の新章としての準同盟の萌芽 ——

山崎 周